

〔様式 1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	地域づくり会議の設立運営と事業展開																							
28年度募集テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 『笑顔』 <input checked="" type="checkbox"/> 『場づくり』 ※該当テーマに☑してください。																							
テーマとの関連	<p>◎テーマをどのように受け止め、貴団体の取組と合致すると考えたのかをお書きください。</p> <p>地域づくり会議は、地域に密着した情報の共有や課題解決の場とし、課題解決に向けた話し合いや方向付け、支援体制等を総合的に調整し推進することにより、地域で支え合い、安全で安心して笑顔で暮らせる平井学区を目指すことを目的としており、テーマに合致する。</p>																							
目的・解決をはかりたい課題の状況・目標	<p>◎取組の目的、解決をはかりたい社会課題の状況把握・ニーズ把握、解決後の姿（目標としている状況）などについて記載してください。</p> <p>各団体が把握している地域課題アンケート分析結果は、下記の通り。 下記記載の課題や要望事項等を「地域づくり会議」で、地域課題の解決すべき優先順位付けや課題解決の方向付けなどを議論し、課題解決に向けた取組を行っている。なお、効率的な会議運営を行うため、議論された課題やテーマに応じて専門部会を発足し、課題解決策の検討等を行っている。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 45%;">項目</th> <th style="width: 40%;">課題・要望</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">高齢者</td> <td>高齢者一人暮らし及び 高齢者のみの世帯対策</td> <td>見守り・声かけ体制の充実 要支援・要介護体制の構築</td> </tr> <tr> <td>認知症対策</td> <td>認知症の人や家族への支援体制の構築 行政・医療・介護等関係機関との連携 ネットワークの構築</td> </tr> <tr> <td>シルバークラブ対策</td> <td>加入率向上策の検討</td> </tr> <tr> <td>子育て</td> <td>子育て中の親の支援対策</td> <td>孤立防止策の検討</td> </tr> <tr> <td>青少年</td> <td>不登校対策</td> <td>行政・文教機関、地域及び家庭間連携 ネットワークの構築</td> </tr> <tr> <td>人づくり</td> <td>若手リーダ育成対策</td> <td>各種団体の若手後継者育成の検討と 活動内容の活性化策検討</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>空き家対策</td> <td>空き家の地権者確認や処分方法</td> </tr> </tbody> </table> <p>現在、二つの専門部会を立上げ、課題検討等を行っている。 「高齢者対策専門部会」は、認知症予防対策事業の一環として「オレンジカフェひらい」の立上げと運用を開始した。また「地域課題・ニーズ調査専門部会」では、地域課題の解決と地域資源を活かした事業計画や活動計画策定に繋げることを目的に、各世代のニーズ調査を実施すべく検討を行っている。</p>		区分	項目	課題・要望	高齢者	高齢者一人暮らし及び 高齢者のみの世帯対策	見守り・声かけ体制の充実 要支援・要介護体制の構築	認知症対策	認知症の人や家族への支援体制の構築 行政・医療・介護等関係機関との連携 ネットワークの構築	シルバークラブ対策	加入率向上策の検討	子育て	子育て中の親の支援対策	孤立防止策の検討	青少年	不登校対策	行政・文教機関、地域及び家庭間連携 ネットワークの構築	人づくり	若手リーダ育成対策	各種団体の若手後継者育成の検討と 活動内容の活性化策検討	その他	空き家対策	空き家の地権者確認や処分方法
	区分	項目	課題・要望																					
	高齢者	高齢者一人暮らし及び 高齢者のみの世帯対策	見守り・声かけ体制の充実 要支援・要介護体制の構築																					
		認知症対策	認知症の人や家族への支援体制の構築 行政・医療・介護等関係機関との連携 ネットワークの構築																					
		シルバークラブ対策	加入率向上策の検討																					
		子育て	子育て中の親の支援対策	孤立防止策の検討																				
	青少年	不登校対策	行政・文教機関、地域及び家庭間連携 ネットワークの構築																					
	人づくり	若手リーダ育成対策	各種団体の若手後継者育成の検討と 活動内容の活性化策検討																					
	その他	空き家対策	空き家の地権者確認や処分方法																					

取組の内容

- 1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数等
 - ・対象地域：平井小学校区
 - ・対象者：学区民全員
 - ・対象人数：13,143人、対象世帯数：5,879世帯（平成27年9月末現在）

- 2 取組の担い手：取組への参加団体、参加人数等

・平井学区連合町内会	10名
・平井学区安全・安心ネットワーク	1名
・平井地区民生委員・児童委員協議会	1名
・平井地区社会福祉協議会	1名
・平井学区愛育委員会	2名
・平井学区防犯協議会	1名
・平井学区交通安全対策協議会	1名
・交通安全協会平井支部	1名
・平井学区交通安全母の会	1名
・平井学区コミュニティ協議会	1名
・平井消防分団	2名
・平井電子町内会ホームページ委員会	1名
・平井学区シルバークラブ連合会	1名
・平井すずらん交流会	2名
・山陽学園大学・山陽学園短期大学	3名
・NPOみんなの集落研究所	2名
・岡山市社会福祉協議会	1名
・岡山市中区保健センター	2名
・岡山市中区地域包括支援センター	2名
・岡山市ふれあい介護予防センター	1名
・岡山市立東山公民館	1名
・岡山市市民協働局 市民協働企画総務課 市民活動支援室 地域担当職員	1名
【合計】	38人+α

- 3 活動内容、実施方法などを具体的な活動ごとに箇条書きでお書きください。
 - (1) 地域づくり会議発足までのプロセス
 - ・地域づくり会議設立企画会議開催（2回）と会議設立準備作業
 - ・連合町内会総会にて、地域づくり会議設立と会議運営予算承認
 - ・地域各団体に対し、団体推薦代表者選出及び地域解題アンケート実施
 - ・各団体からのアンケート回答集計、会議規約案作成等を実施
 - ・地域づくり会議 第1回定例会開催
 - 会議規約案の協議
 - 地域課題アンケートの分析結果から、検討すべき優先課題の選定及び課題検討の進め方等を議論 等

	<p>(2) 地域づくり会議発足後の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ①定例会の開催（年4回） ②臨時会の開催（適宜） ③専門部会の発足と専門部会の開催（適宜） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 定例会で議論された課題やテーマに応じて専門部会を発足。 現在、高齢者対策専門部会と地域課題・ニーズ調査専門部会の2部会発足。 ④研修会の実施（計4回） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 外部講師を招聘し、会議運営手法、課題解決策の検討方法、地域づくりの先進事例、高齢者対策についての岡山市の取り組み等を習得。 ⑤地域づくりや認知症対策の先進地域への視察（鳥根県雲南市、鳥根県琴浦町） ⑥地域づくり会議の活動状況を情報発信及びPRの実施 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 学区発刊の「連合町内会だより」や学区ホームページ「平井学区電子町内会」に地域づくり会議の活動内容を掲載し、学区内外への情報発信等を実施。 <p>4 取組をWEB等で告知している場合はそのURLをお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平井学区電子町内会ホームページのURL http://townweb.e-okayamacity.jp/hirai-rengou/
<p>協働の体制</p>	<p>◎協働する各団体の役割分担や、団体間の目的の共有の仕方、対等な協働関係を築いていくための工夫など、具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平井学区地域づくり会議の学区各団体（14団体） ⇒地域活動の各種団体から推薦された団体代表と連合町内会の役員で構成した同会議の常任委員が、会議運営を行う。なお、常任委員は、自らが所属する団体に対し、地域づくり会議の存在と意義を周知し、同会議の目的達成の為の情報収集や情報提供に努めることとしている。 ・関係行政機関及び関係機関（以下、6機関） <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市立東山公民館、岡山市社会福祉協議会、岡山市中区地域包括支援センター ・岡山市中区保健センター、岡山市ふれあい介護予防センター ・岡山市市民協働局 市民協働企画総務課 市民活動支援室 ⇒地域づくり会議のテーマに応じて、同機関の専門職から支援を受けている。 尚、岡山市市民協働局 市民協働企画総務課 市民活動支援室の地域担当職員は、地域づくり会議の事務局支援や各種行政機関との連絡・調整や取次ぎ等の調整役を担ってもらっている。 ・山陽学園大学・山陽学園短期大学 ⇒・全般的な活動支援、学生ボランティア派遣 ・「オレンジカフェひらい」開催支援 等 ・NPOみんなの集落研究所 ⇒・研修会の講師派遣 ・地域課題・ニーズ調査専門部会の調査手法や戦略会議等アドバイザー派遣及び調査企画や集計・分析等の支援 等

<p>取組の工夫</p> <p>取組の特徴</p>	<p>◎地域資源や人的資源の活用など工夫した点を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連合町内会役員のみならず、地域の各種団体から推薦された団体代表者によって構成する協議体を組織し、会議運営を行った。 ・ 外部講師を招聘し、地域課題の抽出や分析、課題解決策の検討方法等会議の運営手法の習得を行い、また地域づくりの先進地域団体・組織への視察も行った。 ・ 地域の各種団体に対し、団体が把握している地域課題等のアンケートを行い、そのアンケート結果から、地域課題の分析と解決すべき優先順位付けや課題解決に向けた方向付け等を議論し、課題解決に取り組む方針とした。 ・ 協議する議題やテーマにより、行政機関や関係機関の専門職の参加を求めることとした。 ・ 効率的な会議運営を行う為、専門部会（プロジェクトチーム）を置いた。 ・ 学区発刊の「連合町内会だより」や学区ホームページ「平井学区電子町内会」に地域づくり会議の活動内容を掲載し、学区内外への情報発信とPRを行った。 <p>◎取組の特徴やアピールポイントを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の各種団体が把握している地域情報や地域課題、行政情報の共有化と見える化が図れる。 ・ 地域の各種団体の代表者から構成されているため、議論された内容や方針などを所属する団体へ周知することにより、学区一丸となって地域課題に取り組むことが出来る。また、各種団体の各代表は、団体から推薦された代表者であるため、団体の後継者や若手の育成にも繋がる。 ・ 行政機関からの地域各種団体に対する対応要望・要請内容は、団体によって偏りがあり負担も大きくなっているが、本会議にて他団体への支援調整等が行える。 ・ 本会議の存在意義や活動内容をPRすることにより、地域住民へ顔の見える関係づくりや地域コミュニティの重要性をアピールすることが出来る。 ・ 地域課題の取り組みに行政機関や関係機関の専門職の支援を受けることにより、各分野の専門職との新たなネットワークの構築と連携が可能となる。
<p>成果・効果</p>	<p>◎取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などを記載してください。</p> <p>地域づくり会議では、各団体が把握している地域課題の情報共有、先進地の視察研修などを通じて優先すべき地域課題を議論し、また、その課題解決策の具体検討と事業計画案策定などを目的に専門部会を発足し、具体的な事業展開を行うまでの仕組みづくりが確立した。</p> <p>なお、高齢者対策専門部会が、認知症予防対策事業の一環として「オレンジカフェひらい」（認知症カフェ）を立上げ、10月8日に初回のオープンを迎えた。同カフェは毎月の開催を予定している。</p>
<p>今後の活動展開など展望</p>	<p>◎成果の普及や今後の活動展開など展望について記載してください。</p> <p>今後も地域課題の掘り起しや課題解決策の継続検討及び具体的な事業展開を行う予定であるが、地域づくり会議を安定的に運営し、事業展開を行うための担い手の獲得や資金調達など、さらなる基盤整備や新たな専門部会の発足が必要と考えている。</p>



2015（平成27）年6月2日（火）



挨拶する那須議長

平井学区が抱える地域課題の解決を目指す「平井学区地域づくり会議」（那須和夫議長）が6月2日（火）、平井4丁目の東山公民館で開かれました。

安全・安心ネットワークなど学区内の13の地域活動団体の代表と連合町内会役員が出席する中、議長挨拶、会議の設立経緯と規約説明などがあり、会計及び会計監査が選出されました。続いて、前もって実施していた地域課題アンケートの結果報告を受け、会議の今後の進め方について熱心に議論しました。

報告を受け、会議の今後の進め方について熱心に議論しました。

会議は岡山市の区づくり推進事業「地域活動部門」の認定を申請。今後、市や地域包括支援センター等の行政・関連機関の支援を受け、学区民による地域課題の解決を目指して定期的に定例会を開き、研修も予定しています。



熱心に議論

[Return](#) [ホームへ](#)

平井学区連合町内会

見たい知りたい伝えたい わがまち平井



2015（平成27）年11月18日

平井学区地域づくり会議（那須和夫議長）の雲南市視察が11月18日（水）、平井学区連合町内会と諸団体の代表ら18人が参加して行われました。視察は行政まかせでなく住民が主役の地域づくりの先進事例を学ぼうと企画されたもの。

午前7時小雨の降る中、東山公民館を貸切バスで出発、島根県雲南市役所へ。市の担当者から「小規模多機能自治による住民主体のまちづくり」について説明を受け、同市内で活動している地域自主組織「新市いきいき会」や「躍動と安らぎの里づくり鍋山」の代表者から話を聞きました。

参加者からは活動資金や行政との連携など質問が相次ぎ、活発な意見交換が行われました。



雲南市役所に到着



参加者から質問

小規模多機能自治とは、概ね小学校区域の様々な地域課題を住民の参画と協働により解決していく住民自治の仕組み。雲南市はその旗振り役として全国から注目されている。





新市いきいき会の話聞く



談笑



鍋山交流センターへ



躍動と安らぎの里づくり鍋山の会長さん



意見交換



鍋山の会長さんを囲んで

[Return](#) [ホームへ](#)

平井学区連合町内会

見たい知りたい伝えたい わがまち平井



2016（平成28）年10月8日（土）

平井学区地域づくり会議が開設準備を進めてきた「オレンジカフェひらい」（認知症カフェ）が10月8日（土）、東山公民館でオープンしました。



認知症を楽しく勉強

コーヒーやお茶を飲みながら認知症について勉強し、予防や地域づくりに役立てようという試み。家族に認知症を抱える人や関心のある人をはじめ、スタッフなど合わせて約60人が参加。もの忘れについて互いに話し合ったり歌や寸劇を観賞して楽しいひとときを過ごしました。

午前11時からの集いでは、認知症予防について岡山市の地域包括支援センター職員の話聞いた後、おしゃべりタイム。昼を挟んで軽食をとりながら女性グループ「カトレアシスターズ」のコント風の寸劇や歌謡曲に耳を傾け、楽しく過ごしました。



食事を運ぶスタッフ

スタッフはオレンジ色のエプロンを身に着け奮闘。山陽学園大学・同短大の先生や学生も料理作りや配膳に協力してくれました。

同カフェは毎月1回開催予定で、次回は11月12日（土）11時～13時、東山公民館で開催。

Photo Report



受け付け風景



コーヒー担当も大忙し



「おいしいコーヒーをどうぞ」



市職員から認知症について聞く



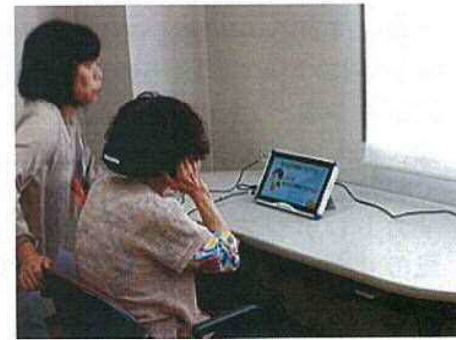
広がる笑顔



歌と寸劇を楽しむ



山陽学園大澁谷教授(右)のアンケートに答える参加者



パソコンによる認知症診断

[Return](#) [ホームへ](#)